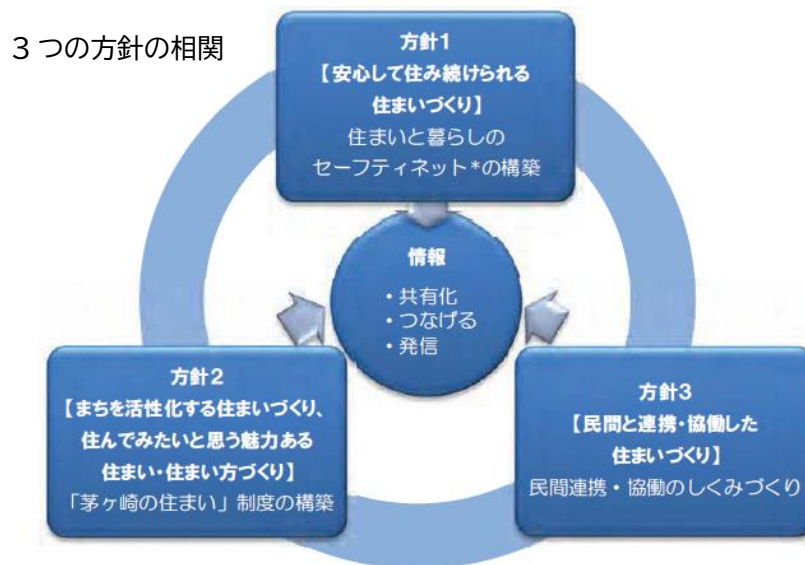


「茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン」の評価について

1.「茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン」について

地域に根差した住まいづくりを展開するため、住まいに係る課題を明らかにし、市民・民間事業者・行政が連携、協働しながら課題の解決をめざす「茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン」(以下「本プラン」といいます。)を平成26年3月に策定しました。

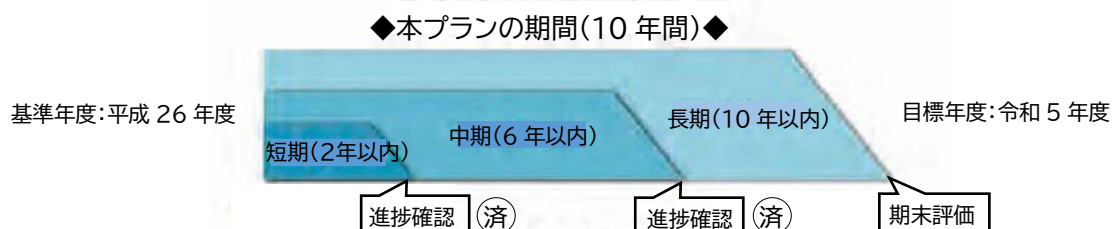
本プランは、都市計画や福祉・環境・防災など広範囲に渡る住宅に関連する分野について、より合理的かつ効果的に住宅政策を進めるための行動計画であり、「湘南茅ヶ崎らしい様々なライフステージに応じた住まい方ができるまち」を将来像として、その実現のため3つの方針と、10年後の目標、17の取組(参考資料2参照)を定め、施策を推進してまいりました。



2.評価の目的と手法について

本プランは平成26年度から令和5年度までの10年間の計画期間とし、17の取組に基づく施策の「検討・準備」「試行」「実施」について、短期(2年以内)、中期(6年以内)、長期(10年以内)と定めております。

短期末や中期末においては、施策の推進確認について、附属機関である「住まいづくり推進委員会」に諮問し、答申をいただいております(参考資料3、4参照)。



期末評価は、本プランでの成果や問題点などを考察し、次期プランへの課題としてつなげることを目的に、市による検証と「住まいづくり推進委員会」による検証内容の確認の2段階を経て行います。

まず、市において、10年間で行うとした施策の進捗確認に加え、市民意識調査や統計データに基づく目標の達成状況を検証します。そのうえで、「住まいづくり推進委員会」より、市による検証内容の妥当性を確認していただき、今後の方向性について答申を受け、公表することといたします。

1)実施事業評価

本プランのプログラム(スケジュール)に基づき10年間で行うとした3つの方針における17の取組に基づく施策を対象に、事業の取組状況を検証します。達成度につきましては、「A:事業をおおむね実施し、成果があがった」。「B:事業をおおむね実施し、今後成果は見込める」。「C:事業を実施したが、成果はあがらなかった」。「D:事業を実施できなかった」とします。

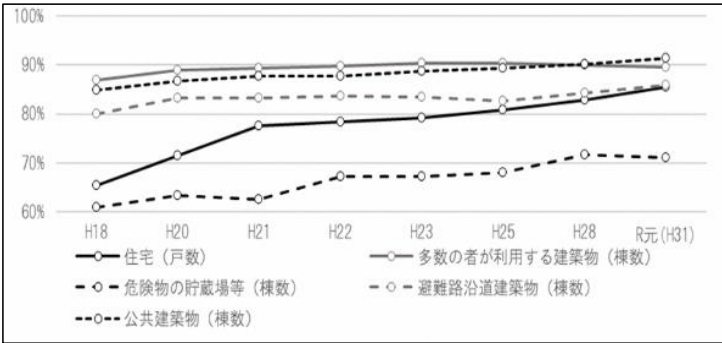
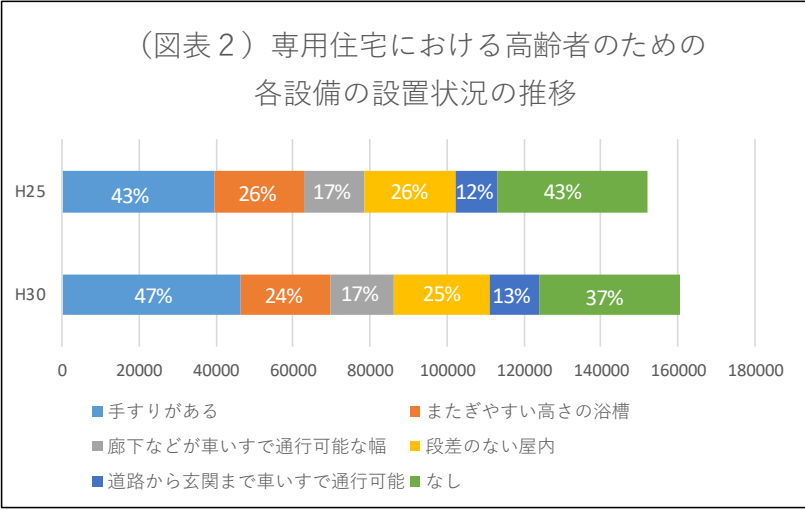
評価シート例

方針1【安心して住み続けられる住まいづくり】		達成度	A																
取組1	高齢者など住まいの相談窓口と情報提供																		
施策2	高齢者などへの住まい制度の周知と活用促進																		
市の担当課やその他の関連機関で取り組んでいる、高齢者などへの住まいに関する制度をわかりやすく紹介するとともに、活用の促進を図ります。																			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「住まい制度」ガイドブックの発行 平成28年に住まいに関する市の制度や支援メニューを中心にまとめた冊子「住まい制度」ガイドブックを発行しました。 毎年情報の更新を行うとともに、市HPへの公開や関係課への送付を実施することで、広く市民に活用され、住宅・住環境向上の一役を担いました。 ・「住まいの相談窓口」の周知 住まいに関する要望や相談を伺い、適切な部署、期間につなぐ「住まいの相談窓口」（平成28年度開始）での対応について、関係課や地域包括支援センターに制度の周知を行うことで、高齢者の利用割合が年々増加し活用の促進につながりました。 <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <caption>「住まいの相談窓口」件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>相談件数</th> <th>60以上の件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>107</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>158</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>183</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>181</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>338</td> <td>176</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29年1~3月分は、H29年に含まれています。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「茅ヶ崎市居住支援協議会」の設立 令和4年4月に設立した「茅ヶ崎市居住支援協議会」では、高齢者への居住支援について、協議会会員へ広く制度の利用を促し、連携体制を整えました。 	年度	相談件数	60以上の件数	H29	107	28	H30	158	86	R元	183	85	R2	181	107	R3	338	176
年度	相談件数	60以上の件数																	
H29	107	28																	
H30	158	86																	
R元	183	85																	
R2	181	107																	
R3	338	176																	
取組遂行上の課題	本市は、人口のピークを間近に控える中、年齢偏差では、65歳以上の高齢者が増加しております。居住支援協議会を活用し、地域の専門家や民間事業者などの連携も含めて、高齢者などへの住まいの制度の積極的な周知を進めることが必要です。																		

2)10年後の目標達成状況

本プランが示す3つの方針における10年後の目標について、市民意識調査や統計データに基づき、住まいを取り巻く本市の状況や市民の意識の変化を確認し、成果を検証します。達成度につきましてはA:アクションプラン策定時から値が上昇。B:アクションプラン策定時から値が横ばい。C:アクションプラン策定時から値が下降とします。

評価シート例

方針1【安心して住み続けられる住まいづくり】	達成度	A
【10年後の目標】 ①高齢者や障害者が居住する住宅の耐震化やバリアフリー化が進んでいる。		
<p>住宅において耐震化率は本プラン策定以降上昇しています（図表1）。また、バリアフリーに関する設備の設置状況におきましても、全体数が増加しており（図表2）、一定の目標を達成しております。</p> <p style="text-align: center;">（図表1）建築物の種類別耐震化率の推移</p>  <p style="text-align: right;">【出典】茅ヶ崎市耐震改修促進計画改定資料より</p> <p style="text-align: center;">（図表2）専用住宅における高齢者のための各設備の設置状況の推移</p>  <p style="text-align: right;">【出典】H25・H30住宅・土地統計調査</p>		

3)実施事業に対する「住まいづくり推進委員会」による答申

実施事業に対する「住まいづくり推進委員会」による答申では、市による実施事業評価を踏まえ、本プランのプログラム(スケジュール)に基づき10年間で行うとした17の取組に基づく施策を対象に、方針毎に検証を行います。施策の検証は、茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン期末評価に対する諮問への答申により行うこととします。達成度は市の実施事業評価と同様とします。

評価シート例

方針1【安心して住み続けられる住まいづくり】		達成度	
今後、増加する高齢者や障がい者などが安心して地域で住み続けられるよう、住まいと暮らしのセーフティネットを構築します。			
住まいづくり推進委員会からの意見			

4)スケジュール

期末評価のスケジュールにつきましては、次回の「第2回茅ヶ崎市住まいづくり推進委員会」において、市の評価案をお示しする予定です。実施事業状況や、目標の達成状況に対するご意見等いただきながら、議論を深め、次年度の住まいづくり推進委員会の中で次期プランにつながる課題等を含め、答申をいただくことといたします。なお、次期プランは令和5年度末の策定を目指し、現在作業を進めております。

